

◆健康へのワンポイント アドバイス◆

「CKD(慢性腎臓病)について」

- CKD(慢性腎臓病)とは、たんぱく尿や腎機能の低下など、腎臓の異常が持続している状態です。

<診断>

- ① 尿たんぱくが出ている。(1+以上)
- ② 糸球体ろ過量(GFR)が60ml/分/1.73m²未満に低下。(健常の60%未満)

①、②のいずれか、または両方の状態が3か月以上続いているときにCKDと診断されます。
* GFRとは、腎臓が老廃物をどの程度排泄、処理できるかという腎機能の指標です。

- 現在、日本人の1330万人、8人に1人がCKDと推定されており、新たな国民病と言われています。CKDは、放置すると腎臓の働きが低下して人工透析や腎移植を受けなければならない重大な病気です。また、CKDの方は脳卒中や心筋梗塞、心不全などの大きな病気を起こすリスクが高く、死亡率も上昇することが知られています。
- CKDの初期は自覚症状がほとんどみられないため、血液検査、尿検査で確認する必要があります。低下した腎機能を回復する治療は今のところ確立されておりません。そのため、腎機能、尿の異常を早期発見して、原因の検査、治療を進めて腎臓を守ることが非常に重要です。

健診は欠かさず受診し、腎機能や尿検査で異常を認めた場合には、かかりつけ医または医療機関を必ず受診して相談してください。

(令和5年9月)